



# ほたるっ子

磐梯第一小学校  
学校だより第21号  
令和2年8月28日  
文責：校長 酒井康雄

## 情報は、自分のために生かしましょう！

### ～加害者にならない心配りを～

全国では、感染によって差別、誹謗中傷などが社会問題となり、医療従事者までもが加害者のような目で見られるニュースも聞かれます。そこで、先日、文部科学大臣から児童生徒だけでなく、保護者や地域の皆様に向けたメッセージが発表され、特に次の2点のお願いがありました。（詳しくは、裏面のメッセージをご覧ください。）

1 感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さない！

2 学校における感染症対策と教育活動の両立に対するご理解とご協力を！

だれもが感染する可能性があるにもかかわらず、感染者だけでなく、感染者と同じ職場の人、医療に従事している人等に対する**差別や誹謗中傷は、いじめであり犯罪**につながります。

学校では、いじめ防止対策基本方針をもとに、「**いじめは絶対に許さない**」ことを掲げ、取り組んでおります。ましてや、地域等で、差別や誹謗中傷などがあれば、家庭だけでなく、学校や地域の崩壊にもつながりかねません。

また、学校においては、情報活用能力の育成に向けて、単に情報を収集するだけでなく、**知り得た情報が正しいか、または、目的に合った情報かどうか吟味し、取捨選択したり発信したりする力もつけるように指導**しています。しかし、いつの間にか、差別や誹謗中傷につながる情報を発信し、**いじめの加害者になることも懸念**されます。

会津若松市でも新型コロナウイルス感染の情報が聞かれるようになってきました。「磐梯は大丈夫」と、対岸の火事のように感じてる方もおります。大切なことは、「〇〇が感染したようだ」と聞いたとき、**まずは感染防止を再認識**するとともに、**自分や自分の家族が感染した場合も想像し、自分事として情報を活用**することではないでしょうか。

だれもが住みやすい地域づくり、子どもたちが安心して登校できる学校づくりを実現するためにも、ぜひ、磐梯町から差別や偏見、誹謗中傷などが発信されることのないように、ご理解とご協力をお願いいたします。